

受入先	NPO 法人 頼娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 5 月（着任 1 年 11 カ月目）
主な活動	1 他地域での取り組み視察 2 地域活性化の取り組みに関する打ち合わせ 3 松ヶ浦駅除草作業への参加

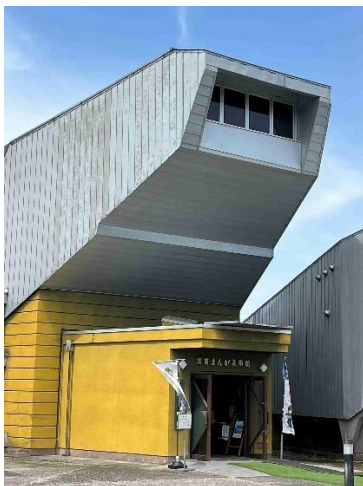
1. 他地域での取り組み視察

鉄道に限らず、公共交通機関全般のあり方については、南九州市だけでなく他の地域でも課題になっています。

鉄道とアニメーションを組み合わせお互いの活性化に取り組んでいる地域の視察を行いました。

熊本県の人吉市から湯前町を走るくま川鉄道（現在一部運休中）の終着駅である湯前駅付近にある、湯前まんが美術館で開催された「レエル ロマネスク展」に行き、アニメーションを使った地域おこしの取り組みについて、関係された方よりお話をうかがいました。

鉄道沿線の景色を気に入ってくれた作者が、同鉄道を走っている車両をモチーフに擬人化したキャラクターを設定したものです。アニメーションに描かれた場所を訪れることや、風景を目当てに鉄道を利用するお客さまが増えたとの説明に、アニメーションキャラクターだけでなく、周囲に影響を与えることを実感しました。



【美術館外観】



【展示（撮影許可されたコンテンツを掲載）】

2. 地域活性化の取り組みに関する打ち合わせ

先月の活動報告書で「ご当地バレーボール大会」を実施できるよう、関係者の方々と打ち合わせを行っていることの続報となります。

7月初めに颯娃町郡地区にある田んぼをお借りして実施できることとなり、大会を盛り上げたいとの思いを同じくする方々と準備しております。

それぞれのメンバーが得意とする分野を担当して取り組んでいることが当日につながることを感じ、みんなで盛り上げていけるよう取り組んでいます。



【案内パンフ】

3. 松ヶ浦駅除草作業への参加

指宿枕崎線沿線の景観を維持して、列車を利用する方だけでなく、撮影で訪れた方にも美しさを感じていただくことで、地域の価値を向上させていきたい。秋の時期に行っていた松ヶ浦駅構内の除草作業ですが、初めて5月に開催しました。

松ヶ浦駅から撮影した風景を写真雑誌などに紹介していただいている有名写真家や関東在住の松ヶ浦駅ファンを始め、草刈りツーリズムを行うNPO法人、JR九州、地域住民の方々など、約30名が参加して実施しました。平らな場所が少なく、線路の砂利に気を使いながら除草作業を行い、終了時には見違えるほどになりました。

